

# 三島特別町民 故 テレサ・テンさん

# 「アジアの歌姫」で誘客

## 海外団体に働き掛け

三島町は、台湾出身の人気歌手の故テレサ・テンさんの知名度を生かした奥会津への観光誘客に乗り出す。テレサさんが四十年前に町を訪れた際に特別町民になってもらっており、テレサさんとの縁を糸口に海

外の関係団体を訪ねて来町を働き掛ける。JR只見線沿線の絶景が国内外で注目される中、町内のゆかりの地を巡る周遊ルート構築して地域の魅力を発信し、交流人口の増加を目指す。



三島町特別町民の認定を受けるテレサ・テンさん＝町提供

## 周遊ルート構築へ



記念植樹するテレサ・テンさん＝町提供

テレサ・テン特別町民記念樹

奥会津地方を訪れる外国人観光客はここ数年、増加傾向にある。只見川電源流域振興協議会の調査によると、奥会津7町村の2017（平成29）年の外国人延べ宿泊者数は1271人で、2016年の806人の約1.6倍、2015

### 奥会津 外国人観光客が増加

年の573人の約2.2倍となっている。2017年に宿泊した1271人を国・地域別で見ると、テレサさんが生まれた台湾が最多の631人（50%）、次いで韓国205人（16%）、中国101人（8%）、香港95人（7%）と続いた。

町はテレサさんの国内外での高い知名度に着目。テレサさんとのつながりをきっかけに国内外との交流を深めて町の魅力をPRし、観光客の拡大に結び付けることとした。詳細は今後詰めるが、町関係者が今秋にはテレサさんの写真や関

心のあるグッズを販売する。また、ゆかりの地を巡る周遊ルートは、テレサさんが降り立ったJR会津宮下駅、記念植樹を植えた宮下温泉ふる

るの情報を強化する。町はテレサさんの出身地台湾を訪問し、関係団体などに来町を働き掛ける。日ある。周辺町村と連携しながらさらさらな手法を駆使して広域的な観光客獲得に結び付けたい」としている。

テレサさんは日本デビューから間もない一九七七（昭和五十二）年三月、人気曲「ふるさとほどです」のPRで三島町を訪れ、町民に甘い歌声を披露した。町が始めたふるさと運動の一環で特別町民の登録を受け、町内に記念樹を植えた。

もテレサさんの出身地台湾を訪問し、関係団体などに来町を働き掛ける。日ある。周辺町村と連携しながらさらさらな手法を駆使して広域的な観光客獲得に結び付けたい」としている。



JR会津宮下駅のホームに降り立つテレサ・テンさん＝町提供

テレサ・テン 「つぐない」「時の流れに身をまかせ」など数多くのヒット曲を生み、1995（平成7）年に42歳の若さで他界した。亡くなって四半世紀近くが過ぎた現在も日本や香港、東南アジアなどで絶大な人気を誇り、「アジアの歌姫」として愛され続けている。

町は伝統工芸「編み組工」で有名だ。二〇〇〇（平成十二）年に国立台湾工芸研究所と友好協定を結んだが、現在は交流が途絶えている。今秋にも研究所と協定を再締結し、技術交流を通じて誘客につなげたい考えだ。町は二十七日の臨時議会で、関連事業費を盛り込んだ二〇一八（平成三十）年度一般会計補正予算案を提出する。

町地域政策係長の五十嵐義展さんは「誘客は好調だが、伸びしろはまだ大いにある。周辺町村と連携しながらさらさらな手法を駆使して広域的な観光客獲得に結び付けたい」としている。